

14 空手道

1. 日 時 令和6年8月25日(日)
競技開始式 午前9時30分

2. 会 場 南有馬武道館

3. 競技種目

- イ. 一般男子による道場代表組手個人試合
(50歳未満、50歳以上70歳未満、70歳以上)
- ロ. 一般男子による道場代表組手団体試合
- ハ. 一般男子による道場代表形個人試合
(50歳未満、50歳以上70歳未満、70歳以上)
- ニ. 少年の部個人組手試合及び形試合(オープン競技)
予選の形試合は次のとおりとし、決勝は得意形とする。
 - ・小学1～2年生平安初段・二段の形またはその以下の形
 - ・小学3～4年生平安三段・四段の形またはその以下の形
 - ・小学5～6年生平安五段の形またはその以下の形
 - ・中学生全空連指定形またはその以下の形
- ホ. 幼児の部ケンケン相撲(オープン競技)
- ヘ. 演 武(形・試割)

4. 競技方法

競技方法は、(公財)全日本空手道連盟の空手競技規定及び本大会申し合わせ事項によるほか、次の方法による。

イ. 個人試合

- ・トーナメント方式により勝者を決定する。人員・年齢・段に制限なし。
- ・勝負は、2分間8ポイント先取とし、8ポイントに至らない時は、ポイント数の多い方を勝者とする。勝負がつかない場合は、判定を行う。
- ・少年の部は小学生1～2年・小学生3～4年・小学生5～6年の部(男女別)・中学生男子の部・中学生女子の部とする。
- ・出場選手数は制限しない。

ロ. 団体試合

- ・道場より各5名とし、年齢、段級制限なく次のとおり編成する。
- ・大将1名、中堅1名、先鋒1名、補欠2名。
- ・総当り戦による各選手の勝数により勝敗を決める。
- ・同点の場合は取得本数の多いチームが勝ちとする。
- ・内容が等しい場合は、チーム各1名の代表選手を出し勝敗を決める。

ハ. 3位決定戦は行わず、双方とも3位とする。

ニ. 演 武

- ・演武は、男女・年齢に関係なく希望者は出場できるものとする。
- ・但し、申込人数が多数となり、時間的に無理を生ずる場合は制限することがある。

5. 選手資格

- イ. 市内居住者で、令和6年4月1日現在で住民登録したアマチュアであること。
その後転勤等で移動したものについては、この限りではない。また国体出場等
県が認めるふるさと選手については、出場を認める。
- ロ. 学生・生徒は一般人として出場を認めない。(但し、練習生・訓練生・専門学
校生・定時制等は可)
- ハ. 市スポーツ協会加盟団体所属の会員であること。その他は市民スポーツ大会開
催要項のとおりとする。

6. 組み合わせ

(1) 個人及び団体の部

抽選により番号を決め、トーナメント方式により行う。

7. 審判

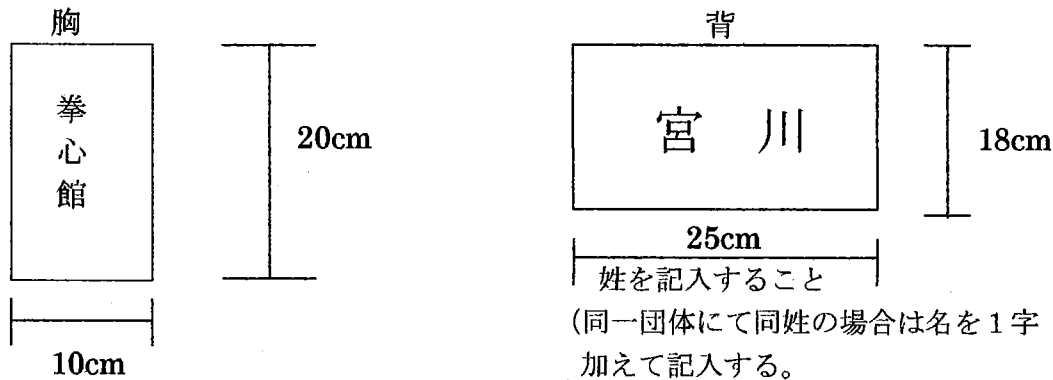
- (1) 審判は、(公財)全日本空手道連盟空手競技規定を適用準用する。
- (2) 審判員は、県及び市空手道連盟公認審判員の中から委嘱する。

8. 表彰

団体・個人とも3位までとする。ただし、演武は除く。

9. その他

- (1) 選手は左胸に道場名を記入したゼッケン(10cm×20cm)を背中に姓を記入した
ゼッケン(25cm×18cm)をつけること。



- (2) 安全具は次のとおりとする。

- ・一般は、6セット (メンホー、拳サポーター、プロテクター、金的カップ、シンガード、インステップガード)
- ・小学生は、3セット (メンホウ、拳サポーター、プロテクター)
- ・中学生は、4セット (メンホウ、拳サポーター、プロテクター、金的カップ)

- (3) 県民体育大会の出場選手は、本大会の成績を参考とし、別途選考会で選出する。